

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.60

令和2年
2月発行

12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原市
スポーツ推進委員

特集 市スポーツ推進委員	2
新年のあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	4
会期中の審査	6
議決結果一覧表	7
一般質問	8
臨時会・台風19号災害対策	12
閉会中の委員会活動	13
市議会と市民の意見交換会	14
市民の声	16



うえのはらで頑張る人 vol.13 上野原市スポーツ推進委員



子どもからお年寄りや障がいのある方みんなが楽しくスポーツが行えるよう、年間を通してパワフルに活動をされている、上野原市スポーツ推進委員の皆様にお話を伺いました。

スポーツの推進を通して、明るく健康なまちづくりに貢献したい！

活動の目的は

■ 市民の体力向上、健康の維持増進を積極的に推進することを目的に、市から委嘱されて活動しています。



■ 長寿の方が多くなって来ています。皆さんが健康で長生きできるように、ニュースポーツが気軽に楽しめて、お役に立てればうれしいです。

いつ頃から活動を

■ 長い人は体育指導委員時代から30年くらい、平均すると皆さん10年くらいは活動しています。

活動されている方は

■ 年齢は30代から60代まで、市内に住んでいるあらゆる職業の方が、地域の推薦を受けて活動をしています。

■ 現在会員数は、市内11支部34名で、事業部、広報部、研修部に分かれて活動をしています。

■ 毎月、第3木曜日に定例会を行っています。終了後ニュースポーツの体験実技を行い、地域に広めるための研修も行っています。



どんな活動をしていますか

■ ウォークラリー教室、市内駅伝競走大会などでのサポート、太陽のつどいの運営スタッフ、市内各地域の体育活動・公民館活動にも参加しています。

■ スポーツ推進委員の全国・関東の各大会や、北都留地区スポーツ推進委員研修

よかったことや、やりがいは

■ 秋山小に各2回、年間合計6回放課後クラブへ伺い、毎回30〜40人の児童とニュースポーツを行っています。



会にも参加し、スポーツの推進に役立つように努力しています。また、北都留教育研究会（北教研）の時間を利用して、上野原小、西小、

■ 健康スポーツ、障がいのある方のスポーツ等を勉強し、地域の中に入って皆さんにお伝え出来ること、皆さんに役立っていたことが大変やりがいを感じます。

■ 地域の要請があれば、何時でもどこでも出かけて、スポーツのルールの説明や審判員などのお手伝いをいたします。ニュースポーツもやってみれば面白いですよ。是非呼んでください。

■ スポーツは、健康長寿のために役立ち、



医療費の抑制にもつながります。みんなで楽しく汗を流して、スポーツを通じて明るいまちをつくりましょう。その架け橋になりたいと思います。

市議会に対して何か

■ 私たちスポーツ推進委員の活動を市民の皆様には知らせたいです。いつでもお役に立てられるよう準備しています。



注 ニュースポーツ…ペタンク、スポーツ吹き矢、カローリング、グラウンドゴルフなど、誰でもできるスポーツを工夫しています。

取材を終えて

スポーツの力と素晴らしさを知ると共に、その陰で、長い間献身的に活動を続けて来られた推進委員の皆さまに頭が下がります。それにしても、皆さんのさわやかな笑顔と若々しくハツラツとした行動がとても印象的でした。

新年のあいさつ

議長 長田喜巳夫



新しい年を迎え、皆様には希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月の台風19号は、大型で強い勢力で関東地方を通過していきました。市内では、観測史上最大の雨量を記録し、家屋の全壊や土砂災害、道路被害、断水などの被害が発生し日常生活に大きな支障が生まれました。

近年は集中豪雨、地震など自然災害の発生が増えております。私たちは日頃から防災に関する意識を持ち、有事に備えた準備をしておくことが大切です。

人口減少と少子高齢化が進行している状況の中、魅力的な住みよいまちづくりの構築は急務となっております。このような中、議会においては現在まちづくり特別委員会、議会活性化特別委員会を設置し、議員間討議を重ねるなど地域活性化に向けた取り組みを進めています。

昨年11月10日には議会と市民の皆さんとの意見交換会を初めて実施しました。寄せられた多くの意見や声を真摯に受け止め、これからのまちづくりに繋げていきたいと思っております。

市民の皆様には、引き続き議会に対するご協力ご支援をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

12月
定例会

定例会で決まった
主なこと

令和元年11月28日から12月13日まで16日間の日程で令和元年第4回定例会が開かれました

審議された議案

市長提出議案

16件

※ 議案名・議決結果等は7ページをご覧ください。

条例 制定

会計年度任用職員制度を導入
非常勤職員に期末手当など支給

議案第103号

上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について

市の非常勤職員について法改正により新しく会計年度任用職員制度が作られました。多くの非常勤職員が会計年度任用職員に移行します。正規職員と同じ勤務時間のフルタイム任用職員とそれより短い勤務時間のパートタイム職員に分かれます。いずれも期末手当が支給されるようになりますが、フルタイムの場合は退職金、地域手当などが支給されません。

条例制定

防火対象物の消防用設備の違反対象物は公表されず

議案第106号 上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について

火災予防条例の一部を改正するこの条例改正は、違反対象物に係る公表制度の実施に伴い、防火対象物の消防用設備等の状況が公表されます。対象の建物は170件で、「立入検査結果の通知から一定期間を経過しても、なお公表の対象となる違反が認められる場合」は、通知から30日後に公表されます。

条例制定

下水道工事技術者、里親など
成年被後見人の欠格条項見直し

議案第104号 上野原市下水道条例の一部を改正する条例制定について
議案第105号 上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

認知症などで成年後見制度を利用し、被後見人や被保佐人となる欠格条項に該当することがありました。一律に欠格とすることをやめ、その仕事に支障がなければ資格等を認めることとなります。今回の条例改正では、排水設備責任技術者などの登録、里親が該当します。

なお、東部広域水道企業団でも、指定給水装置工事業者も同様の条例改正が行われています。

条例制定

官民格差是正で職員の給与が改定

議案第117号 上野原市職員給与条例の一部改正する条例制定について

行政職給与表における初任給を1500円程度、30代半ばまでの職員については給与月額を引上げます。期末勤勉手当の年間支給月数を0・05月引上げ4・50月とし、引上げ分は令和元年12月期の勤勉手当へ配分します。平成31年4月1日から適用。

議案第107号 令和元年度上野原市一般会計補正予算(第5号)

補正予算

一般会計8659万7千円増額

- 移住促進・対策事業 3332千円
- 移住者住宅取得等補助金
- 正規保育所費 388千円
- 秋山保育所施設修繕等
- 清掃総務費 2299千円
- ごみ減量化支援業務委託
- 土木総務費 3000千円
- スマートインター開通式典経費

議案第116号 上野原市秋山財産区管理委員会委員の選任について

人事案件

財産区管理委員会委員の選任に同意

上野原市財産区管理委員会条例第3条の規定により、秋山財産区管理委員会に佐藤正直氏の選任について、全会一致で同意することになりました。

総務産業常任委員会

委員長 友栄
 副委員長 杉本 純雄
 委員 白鳥 薫
 山口 洋昭
 東山 修文
 小俣 公幸
 杉本 喜重
 岡部 重
 尾形 重

12月2日、委員会を開催し、付託された条例制定2議案を審査しました。

議案第103号「上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について」は、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により新たに導入される会計年度任用職員に対して支給する給料、報酬、手当、費用弁償について定めるとともに、特別職非常勤職員等の任用の整理等のため、既存条例の一部改正を行うものです。

Q 特別職非常勤職員の新旧対照表で、新表に該当がないものはどの様な扱いになるのか。

A 今まで特別職非常勤として任用していたが、今後は出来なくなる職種について、今回整理を行っており、例えば事務嘱託員等については、地方公務員法の身分を

持たない、有償ボランティアに移行します。

次に、議案第106号「上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について」は、違反対象物についての消防用設備等の状況を公表できるように改正するものです。

採決の結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。



巖出張所

文教厚生常任委員会

委員長 美智子
 副委員長 藤形 幸
 委員 尾形 弘
 内田 倫一
 八木 好博
 川島 秀夫
 山口 好昭
 山田 喜巳夫

12月2日、委員会を開催し、付託された条例制定2議案を審査しました。

議案第104号「上野原市下水道条例の一部を改正する条例制定について」は、標準下水道条例において、排水設備指定工事店の指定及び責任技術者の登録の欠格条項である成年被後见人又は被保佐人が削除されるため、当該規定の引用箇所を改正する必要がある、条例の改正を行うものです。

議案第105号「上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、児童福祉法において、養育里親及び養子縁組里親の欠格条項である成年被後见人又は被保佐人が削除されるため、当該規定の引用箇所を改定する必要があります、条例制定を行うものです。

議員間討議では、委員から成年被後见人・被保佐人について差別を無くしていくためには、このような条例についてだけでなく、様々なところでの配慮が必要との意見が出されました。

議案第104号については、その後、議案の訂正があり、再度委員会を開き、審議・採決を行った結果、2議案いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。



桂川清流センター

令和元年第4回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案件名	内田倫弘	八木一雄	山口薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
103	総務産業	上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	可決
動議	—	上野原子ども園建設用地購入に係る文書管理についての調査に関する動議	●	●	○	○	◎	○	●	欠	●	○	●		欠	●	●	●	●

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	結果	
104	文教厚生	上野原市下水道条例の一部を改正する条例制定について	可決	
105		上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例制定について		
106	総務産業	上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について		
107	予算特別	令和元年度上野原市一般会計補正予算(第5号)		
108		令和元年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		
109		令和元年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		
110		令和元年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
111		令和元年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)		
112		令和元年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)		
113		令和元年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第2号)		
114		令和元年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)		
115		令和元年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第2号)		
116	—	上野原市秋山財産区管理会委員の選任の同意について		同意
117	—	上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定について		可決
118	—	令和元年度上野原市一般会計補正予算(第6号)		

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

令和元年第3回臨時会議決結果等一覧表

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	結果
100	—	令和元年度上野原市一般会計補正予算(第4号)	可決
101	—	令和元年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
103	—	令和元年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

一口メモ 定例会と臨時会

上野原市では条例等で定例会を年4回、3月、6月、9月、12月に開くことが決められています。ただし、事情により市長は繰り上げたり、繰り下げたりすることが出来ます。必要

があれば、臨時会を開くことが出来ます。定例会、臨時会を招集する権限は市長にあります。

議員定数の四分の一以上の賛成があれば、市長に対して臨時会の招集を請求できます。

招集された議会の会期の長さは、議会が定めることになっています。

子どものスマートフォン使用
学校及び教師が担う業務の明確化



川島秀夫

質問 子どものスマホに関する最近の事件について。

近の事件について。

答弁 過日小学生が、スマホ使用SNSにより誘拐事件に巻き込まれました。ツイッター・FB・インターネット等、情報化の進展により子どもがトラブルに巻き込まれる危険性があります。適正に情報を扱える能力を養う必要があります。便利さの裏には危険が隣り合わせであるという事を、交

も教師がしなくてもよい」調査統計、校内清掃、部活動他「教師の業務だが負担軽減可能」給食時の対応、学習評価や成績処理、学校行事の準備・運営、進路指導、支援が必要な児童生徒・家庭への対応等々、計14項目に整理されています。教師の負担軽減という視点から、取り組むところであります。

他に、スマートインター他に、スマートインター供用開始について質問しました。

質問 働き方改革、教師が担う業務の明確化について。

効果的な利用についての学びの環境づくりを進めていくべきと考えています。

答弁

「学校以外が担うべき業務」登下校時に関する対応、徴収金の徴収管理他「必ずし



災害時の避難のあり方の改善を



川田好博

質問 全市に避難勧告が出された。今回開設された避難所14か所の収容人員の合計は何人か。

今回開設された避難所14か所の収容人員の合計は何人か。

答弁 1359名です。

1359名です。

質問 全ての市民が避難対象にならないが、その判断はどのようにすればよいのか。

全ての市民が避難対象にならないが、その判断はどのようにすればよいのか。

答弁 ハザードマップなどを利用して事前に危険個所などを把握していただき、大雨情報などの情報で判断していただきたい。

ハザードマップなどを利用して事前に危険個所などを把握していただき、大雨情報などの情報で判断していただきたい。

質問 自助・共助ができるようにするために、援助をするところが求められていると思うが。

自助・共助ができるようにするために、援助をするところが求められていると思うが。

答弁 今後、自主防災組織の活躍、協力、体制の整備等が課題であると承知しています。

今後、自主防災組織の活躍、協力、体制の整備等が課題であると承知しています。

質問 雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

答弁 雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

質問 雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

答弁 雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

雨の時に毛布を持ってきてと言えば、高齢者等は躊躇するのではないか。

質問 雨が激しい時はどうか。

雨が激しい時はどうか。



答弁 その状況に応じて対応していききたい。

その状況に応じて対応していききたい。

質問 避難所に常備されている食料は何か。

避難所に常備されている食料は何か。

答弁 アルファ米です。

アルファ米です。

質問 賞味期限はどのくらいか。

賞味期限はどのくらいか。

答弁 3年くらいです。

3年くらいです。

質問 避難してきた人に提供して、その後更新するのが合理的ではないか。

避難してきた人に提供して、その後更新するのが合理的ではないか。

答弁 今回の経験をもとに検証し、新たな対応を考えていきます。

今回の経験をもとに検証し、新たな対応を考えていきます。

質問 防災ラジオを活用する考えはないか。

防災ラジオを活用する考えはないか。

答弁 システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

質問 システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

答弁 システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

システム、導入方法、運用方法等調査していききたい。

上野原こども園用地の
不自然な賃貸借契約と買収



杉本公文

質問

25年3月に旧市立病院跡地は、奈良前市長に返還され、26年5月8日に保育園用地として売買契約を締結した。しかし、25年4月1日から1年間を期限とし、金額703万4千円で奈良前市長と賃貸借契約を締結。更に26年4月から7月まで215万円程で継続契約をしている。返したはずの土地をなぜ借りる事になったのか伺います。

質問

の契約で計918万円を前市長に支払い、後に前市長が市に、旧病院契約での敷金780万円を市に返還した事も不自然である。更に、土地売買契約後も支払いを続けた事は、奈良前市長に便宜供与を約束したとしか考えられない。

質問

不必要なグリーンヒル楽水の横の崖の土地をなぜ買収したのか伺います。

質問

上野原地区における公共施設の建設に当たり公共用地として確保する必要があるため継続して賃貸契約をしました。

質問

用途は決まっていたのか。具体的には決まっておりますでした。

意見

地方財政法では支出負担行為には明確な使途が必要とされている。当時使う予定の無い土地を賃貸借する理由には納得できない。2つ

人口減少がもたらす
今後の行政への影響と課題



八木一雄

質問

将来、厳しい税収が予想される中で、行政サービス水準の低下が危惧されます。今後の対応策を伺います。

質問

全国的に進んでいる人口減少並びに少子高齢化の影響が相まってさらに厳しい財政状況を強いられる事が予想されています。その中で一定の行政サービスを維持していく為、社会環境や住民ニーズの変化に対応し変えていくもの、地域で出来る事はお願いし協働を進めていくなど行財政改革を進め、将来に向け持続可能な財政運営を図る必要があると考えます。

他に、公共交通に於ける交通弱者対策、老朽化する公共施設の維持・管理について質問しました。

質問

地域コミュニティの機能の低下を防ぐ為、行政はどの様に拘わりを持って組織の維持・大切さを啓蒙していくのか伺います。

質問

いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていく為に、地域と医療、介



観光案内所の使命と活用等について



東山洋昭

質問 市が目指す観光案内所の現在・将来。

在・将来。

答弁 本市の魅力ある地域情報を発信し、観光客を始め、上野原駅の利用者等の利便性を図り、地域の活性化を行うことを目的とする中で、市観光協会がこの施設を活用し、地域主体の観光振興を図る活動拠点と考えています。

が地域活性化につながる。観光や登山に訪れた方々に接客を始め、案内がしつかりできることが大切。これには常に向上心と研修等の充実が必要だ。しかし市の協力がなければ対応できない。予算、人的なものもある。これらを今後特に念頭に入れた観光行政を進めていただきたい。

質問 運営委託の市観光協会等との協議・連携は。

必要であることは認識しています。理事会等への出席について検討していきます。地域経済の振興及び文化の発展、向上に寄与していくためにも、市観光協会と行政は協力して創意工夫し、意思疎通を図り、観光振興施策について同じ方向に向かい成果を上げていくことで、市のよりよい発展につながるかと考えています。

答弁 他に、クリンセンター事業、市民の安全・安心を確保するために、中央道路線橋への横断幕設置について質問しました。

他に、クリンセンター事業、市民の安全・安心を確保するために、中央道路線橋への横断幕設置について質問しました。

意見 市の観光行政の大きな成果



認知症対策
地域防災力の強化



遠藤美智子

質問 急速な高齢化に伴い認知症の発症者が増加傾向にある。「親が認知症かも？」と心配する家族から「どこに相談したらよいかわからない。」との声を聞く。当市の相談窓口である地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームの存在をもっと普及・啓発する必要があると思うが。

多職種の集いや民生委員等に事業の説明を行っていますが、まだ周知が不十分と認識しています。

答弁 現在、市内に防災士が66名います。今後は防災力を底上げするためにも、キャリアアップ研修や、女性や学生を含めた市民を対象にした防災リーダーを育成するための、自前の研修制度について、検討を進めてまいります。

の活用方法は、ただ机上ではなく、実際に図面を使い現地を歩いて危険箇所や避難経路の危険な箇所を確認するなど理想的な活用を考えています。

質問 市独自の防災リーダーの育成や防災指導員のキャリアアップ研修が必要と考えるが、今後の予定は。

答弁 現在、市内に防災士が66名います。今後は防災力を底上げするためにも、キャリアアップ研修や、女性や学生を含めた市民を対象にした防災リーダーを育成するための、自前の研修制度について、検討を進めてまいります。

意見 当市では、延べ2260人の認知症サポーターがいます。今後、認知症の理解者・応援者としてサポーターの活動促進事業（チームオレンジ）を進めてほしい。

ハザードマップの見直しをするとのことですが、地域の危険箇所や災害のリスクを認識し備えるために、今後の市民への普及・啓発等

質問

ハザードマップの見直しをするとのことですが、地域の危険箇所や災害のリスクを認識し備えるために、今後の市民への普及・啓発等



移住定住の取り組み



内田倫弘

質問 今年度の成果は。

答弁 本年5月から政策秘書課内

に移住コーディネーターを1名配置し、相談業務では相談者のニーズに沿ったきめ細やかな対応に努め好評を頂いています。また、移住者支援策では空き家バンクリフォーム補助事業、移住者住宅取得等補助事業等を実施し、11月末までの実績は13件29名で電話や来庁等による相談件数は188件です。空き家バンク運営に関しては登録9件、成約8件です。

質問 ここ数年の傾向は。

答弁 郊外や山間部地域への移住者等の田舎暮らしが人気でしたが、最近の傾向は首都圏での仕事を変えずに移住を希望するケースの相談が増えています。都内に出やすく上野原駅にアクセスが容易な市街地物件の需要が多いです。

質問

移住者が商店街等で商売をしたいという話を聞くが。

答弁

空き店舗をリフォームして開業したいという声も伺っています。こうした移住者に対しても空き店舗を含めマッチングをする事は重要です。第2期総合戦略で検討したいと考えています。

質問

サポートは。

空き家バンクリフォーム補助事業見直し、産業振興課所管の特定創業支援事業、山梨県の企業支援金制度等関係部署と連携し支援を行いたいと考えています。

他に、ふるさと納税の取り組みについて質問しました。



将来の上野原のために今出来ること



山口薫

質問

地球温暖化による気候変動は大きな問題です。世界中

の科学者が「温室効果ガスの削減、森林の保護、肉食の削減やフードロスの対策が必要」と警鐘を鳴らしています。当市としても「クール・チョイス都市宣言」を行うなど、県が主導する温暖化防止運動に積極的・計画的に協力しては。

質問

市民ひとり一人が賢い選択を行い、今出来る事を実践し、温室効果ガス削減に取り組む、宣言については、

国や県の動向と市民の状況を踏まえ検討したいと考えています。

質問

台風等で各交通機関が止まり、長期間「通勤困難者」となった人達に対し、市から何らかの支援は出来ないか。

答弁 現在、通学困難者には支援していますが、通勤困難者に対しては、県が補助の対

質問

象としていないため、今回行っていない。

大規模な災害で市が孤立した場合の食糧等の調達と、高齢者や身体に障害のある方が「住宅難民」になった場合の対策は。

答弁

今まで広域的で長期的な大きな災害はありませんでしたが、今後は国や県と協議を行いつつ対策を検討していきます。

他に、中学生に対する普救命講習の必要性、防災行政に対する市民の協力、消防団員の待遇改善等について質問しました。



第3回臨時会・台風19号災害対策

災害復旧

台風19号による被害の復旧に関して、11月13日令和元年第3回臨時会が招集されました。冒頭、会期は一日間とすることを決定し、一般会計補正予算、公共下水道事業特別会計補正予算、簡易水道事業特別会計補正予算が審議され、いずれも全

会一致で可決されました。

なお、災害復旧関係の補正予算は、第4回定例会にも上程されました。両議会で決定された災害復旧関係の補正予算の主な項目は以下の通りです。

(単位：千円)

第3回臨時会	合計	金額	
一般会計	761,942		
職員人件費		3,205	時間外・休日手当
地域交通対策費		-	財源更正
総務防災諸費		1,219	備蓄用毛布のリパック代
情報通信基盤事業費		4,422	光伝送特別保守業務委託
秋山支所施設管理費		891	非常用電源修繕
簡易水道事業特別会計繰出金		7,650	簡易水道事業特別会計へ
災害等廃棄物処理事業費		7,154	全壊家屋の災害廃棄物処分
観光費		1,240	八重山登山道等災害復旧
マス釣り場管理費		28,427	取水・排水施設、生け簀等災害復旧
公共用財産維持管理費		6,584	赤線・青線補修
上野原駅南口広場管理費		835	エレベーター冠水復旧
公園管理費		4,997	桂川河川公園堆積物・流木等除去
公共下水道事業特別会計繰出金		2,999	公共下水道事業特別会計へ
現年発生農地等補助災害復旧費		80,194	測量設計業務・復旧工事
現年発生林業補助災害復旧費		75,255	測量設計業務・復旧工事
現年発生林業施設単独災害復旧費		13,946	林道19路線の人夫賃・重機借上げ等
現年発生農地等単独災害復旧費		72,195	流出土砂撤去・倒木処理等
現年発生土木補助災害復旧費		427,000	10路線測量設計・復旧工事
現年発生土木単独災害復旧費		23,729	市道約26路線の災害復旧
公共下水道事業特別会計	2,999		
公共下水道整備費(単独分)		2,999	マンホールポンプ施設修繕
簡易水道事業特別会計	7,650		
施設管理費		1,950	簡易水道組合取水水槽修繕
仲間川簡易水道費		200	荻野用水路仮設配管修繕
秋山簡易水道費		5,500	管理道路修繕・取水施設修繕

(単位：千円)

第4回定例会	金額	
一般会計(災害対策関係)		
農業用施設維持費	7,410	台風19号災害等経費等
林業費経常経費	1,388	台風19号復旧事業
林道維持費(経常経費)	1,123	台風19号復旧事業
スポーツ施設整備事業費	2,219	旧柵原中防球ネット撤去等
現年度発生林業施設単独災害復旧費	4,600	土砂・倒木撤去賃金等
現年度発生農地等単独災害復旧費	2,000	秋山地区栗谷地内農地災害測量業務
現年度発生土木単独災害復旧費	5,000	市道栗谷上村線

10月29日、最近特に被害の拡大が目立っているサルの対策を中心に、市内と神奈川県相模原市へ出向き視察を行いました。

はじめに、市内大越路地区のサル用囲い罾を見学しました。

現段階ではサルが自由に出入り出来るように木の枝の棒を設置して、今後、他のサルの警戒心が解けた段階を待って捕獲する予定とのことです。

次に、相模原市へ移動し視察を行いました。相模原市における二ホンザルの捕獲頭数等は、毎年神奈川県が行うモニタリング調査を基に算出した捕獲頭数の方針通りに決定しているとのことです。

また、防除対策として、箱罾による捕獲、シルバー人材センサー・自主防衛組織による煙火を用いた追払い、GPSを活用した二ホンザル個体群の補足調査等を行っているとの説明がありました。

委員から地域住民や各組織、

近隣自治体との連携について質問がありました。市内に49ある自主防衛組織の方達に向けた研修会を、鳥獣被害対策協議会の構成員である猟友会の皆さんの参加のもとに実施したり、上野原市・八王子市とは、情報共有を行いながら連携していると説明がされました。

本市においても、相模原市や他市の事例を参考にしながら、市の実情をふまえた対策を模索すること、近隣市町村や県と連携し、積極的に情報交換をしていく事を当局に要望しました。



閉会中の継続調査として、11月5日「市内の簡易水道の実態について」、大垣外・沢渡・入和見の簡易水道施設の現地調査を行いました。

はじめに担当からの説明を受けました。市内には市直営の簡易水道が2、簡易水道組合が13、小規模水道組合が15あるが、その他に、市が把握していない箇所もあるとのことでした。

簡易水道組合・小規模水道組合について、市では水質管理と水道施設等整備への補助金の交付等を行い、それ以外の水道施設の維持管理については、各組合で行っているとのことでした。

次に、現地調査に向かいました。

■ 大垣外

市内の簡易水道施設としては膜ろ過装置等の設備を有したかなり規模が大きな施設でした。

■ 沢渡・入和見
2つとも小規模な造りとなっており、市内の簡易水道の多くが、これらと同様のものとのことでした。

水は生活するうえで必要不可欠なものです。施設を管理する人の高齢化等、多くの課題があり、維持管理の将来についても考えていく必要があります。今後は、市としてさらなる議論を重ねていくことを要望しました。



初めて開きました！

11月10日、市議会と市民の意見交換会が開かれ、84名の市民の皆さんに参加していただきました。市議会から議員16人全員が出席しました。

市議会として初めての取り組みであり、今回の結果を見ながら、今後の開き方について検討することになっています。

杉本友栄議
会活性化特別
委員会委員長
が挨拶をし、
川島秀夫同委
員会副委員長
の司会で始ま
りました。長
田喜巳夫議長
のあいさつの
後、川田好博
議長だより編
集常任委員長
が市議会につ
いての説明を
行いました。
(別項)



その後、参加者から自由に発言を求め、活発な意見交換を行いました。合わせて25件の発言がありました。そのいくつかについて掲載します。

最後に東山洋昭副議長から「皆さんからいただいた提案・意見・要望について、真剣に集約を行い、対応していきたい」とのまとめの発言がありました。

■ デマンドタクシーの改善

秋山から都留市へ抜けるデマンドを出してもらえるかどうか検討してもらいたい。都留の方が近い、免許返納したとき困るので、都留市と協議して欲しい。検討結果を議会だよりで報告して欲しい。

■ 郷土資料館のこと

郷土資料館についてどう考えますか。藤野や大月には資料館がありますが、ないのは上野原だけです。三三山からトンネルを掘ったりした功績、先人の遺産とか、なぜ粗末に扱うのか。

■ 行政のチェックと自浄努力

旧校舎等の市の財産を一般開放するか、研究又は介護施設等に有効活用する。インターネットの地域格差の是正と高性能通信に対応を。議会は市が市民に損害を与えない行政のチェックと、議会自体の自浄努力も望む。

■ 市の存続のための議論を

2040年、県内27市町村ある中で、第6番目に消滅可能性都市となると総務省の外郭団体の意見があります。きょうの会議は、それをどうやって議会が考え、行政が考え、民間が考えるのが目的だと思います。その中で、安心して住める上野原にするかを議論していただきたい。

■ 文化活動について

上野原市は文化活動を行う為の設備（パネル）等、文化協会が管理しています。文化協会の許可がないと使用できません。文化協会ではなく、市で管理し文化協会に入会してなくても文化活動が出来るように検討してもらいたい。

防災無線の改善

市の防災無線の放送は、家の中には、窓を開けても聞こえません。家の場所的なのも考え、多くの人に確認するも聞こえないと言っています。どうか、原因をよく調べて全世帯で聞こえるようにしていただきたい。

議会についての説明

- ・市の意思を決定する
条例の改廃、予算の決定、決算の認定、契約の承認、意見書の送付、請願の審議など市の意志を決定します。
- ・本会議と委員会での議論をする
詳しい審議は原則として委員会に付託します。委員会は、常任委員会と特別委員会に分かれます。
- ・議員は一般質問ができる
年4回の定例会で、「市政一般に関する質疑」を行うことができます。市政に関して自由に質疑ができます。
- ・議案提案権がある
議員は条例案などを提案することができます。ただし、予算を伴う提案は市長しかできません。

認知症サポーターの活用を

認知症の人やその家族を手助けする「認知症サポーター」を養成するため、毎年講習会を開催して100名以上のサポーターを輩出しておりますが、この人達の活用が全く活かされておられません。市の貴重な人材として行政には有効に活用して頂きたい。

意見交換会について

意見交換会はキャッチボールが出来て非常に良い機会だと思えます。議会だよりは決まった事の報告でそれが出来ません。今日は多くの意見が出たと思えます。是非、議会だよりに反映し、第2回、3回と企画していただきたいです。



手話通訳が行われました

アンケートより

参加した方にお願ひしたアンケートが72通寄せられました。今後の意見交換会の開催に生かしていきます。

主な意見

- ・とてもよかったです。市民の声を有意義に活かせるようにしていただきたい。
- ・次回も開催していただきたい。
- ・各議員のそれぞれの意見を聞きたかった。
- ・テーマをはっきりと示してほしい。

山梨日日新聞社より回答

山梨日日新聞の9月18日付記事に関し、不正確であるという議会側の抗議に、同新聞社から次のような回答が寄せられました。

記事や見出しは、当該のテーマに関して複数回、質問があった経緯に基づき、「質問が相次いだ」としてあります。

市 民

の 声

私の頑張っている事

私は小学校3年生の女の子です。野球チームには1年生の時に入りました。はじめは、ボールがこわかったけど今は打つことが楽しいです。少しずつ試合にもでられるようになってきました。毎週土日に、上小のグラウンドで練習をがんばっています。私のチームには女の子もいます。男の子に負けずに、仲良くやっています。



上野原ゼルコウバ
山口 沙紀さん

この前、甲府で低学年大会がありました。1年生から3年生までが出られる大会です。大会に向けて、チームのみんなと一生けん命練習しましたが、試合では負けてしまいました。でも家族やチームのお兄さんたちがおうえんしてくれたのでうれしかったです。これからも、たくさん練習をして試合で活やくできるようにがんばりたいです。

3 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25	26	27 本会議 (初日) 傍聴可	28 議案調査	29
3/1	2 委員会 総務産業 文教厚生	3 議案調査	4 委員会 予算特別	5 議案調査	6 委員会 予算特別	7
8	9 委員会 予算特別	10 議案調査	11 議案調査	12 本会議 一般質問 傍聴可	13 本会議 一般質問 傍聴可	14
15	16 本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	17 議案調査	18 本会議 (最終日) 傍聴可	19	20	21

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局 (62-3344) へお申し込みください。

議会だよりのQRコードです



編集後記



昨年も全国各地で様々な災害がありました。当市でも台風の被害を受けた地区もあり現在復旧に取り組んでいます。年々気になるのは地球温暖化がもたらす異常気象です。世界中の科学者が「今こそ、温室効果ガスの削減、森林の保護、肉食の削減やフードロス等の対策が必要だ」と述べています。スウェーデンの少女をはじめ、世界の若者たちも声を上げています。私たちも将来のため、多くの人のために、今出来る身近な対策を継続して行きたいと思えます。

今年も、議会及び本誌へのご協力を宜しくお願い申し上げます。(山口薫)

議会だよりの編集委員会

委員長	川田 好博
副委員長	白鳥 純雄
委員	内田 倫弘
委員	八木 一雄
委員	山口 薫
委員	遠藤美智子